

2016年度の活動から

7月23日、安曇野ちひろ公園にトットちゃん広場がオープンしました！

安曇野ちひろ美術館の周囲に広がる安曇野ちひろ公園（長野県・松川村営）が約17,000㎡拡充され、「食」「農」「いのち」を体験的に学べる公園が、2016年7月23日にオープンしました（拡充後、総面積53,500㎡）。一角に完成したトットちゃん広場では1981年の単行本刊行以来、35か国以上で読み継がれる『窓ぎわのトットちゃん』（黒柳徹子・文 いわさきちひろ・絵 講談社）の物語の舞台となったトモ工学園の電車の教室が再現されています。



長野電鉄から松川村が譲り受けた電車の一両では、トットちゃんたちが授業を受けていた1940年ごろの電車の教室を見学できます。教室内の机や椅子は、長野県池田工業高校の生徒たちが手がけました。もう一両は、約500冊の本が読める電車の図書室として、来園者が自由に過ごせます。

トットちゃん広場開園によせて

ちひろさんの絵には、かわいい子どもたちを決して泣かさないう、「平和」をずっと続けてほしいという願いが込められています。世の中が絶対に戦争に巻き込まれるようなことにならないように、子どもたちが未来を夢見て、そして安心して生きていける世の中であってほしい。この公園がずっと続いていくような、平和な世であり続けることを祈っています。

ちひろ美術館（東京・安曇野）館長 黒柳徹子 *黒柳徹子*

ちひろ美術館は、子どものしあわせについて訴え、子どもがのびのびと自由に安全に生きていける社会をつくっていくことを大きなコンセプトにしています。僕たちはこの地域のみなさんといっしょに、この地域のためにこそ、この美術館が充実していくことを、これからも努力していかなければいけないと、しみじみ思っています。大勢の方に助けていただいて、立派な公園のオープンを迎えることができたことを、心からお礼を申し上げます。

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団理事長 山田洋次 *山田洋次*



トットちゃん広場 電車の教室にて

■ 寄付者一覧 2015年4月1日～2016年3月31日の期間中、ご寄付いただいた方の中でお名前公表をご許可くださった皆さまをご紹介します（敬称略・五十音順）。

青山博喜、赤枝操、赤羽大四郎、秋谷洋子、荒井映和花、安藤清貴、石井鈴子、井土都貴子、伊藤幸一、井戸田素子、上坂紀夫、上田睦規、大木義子、大谷真知子、大野絹枝、岡本育子、小山内美江子、櫻田攻、柏原文子、嘉戸秀美、加藤建、鎌谷雄樹、川端弘子、喜入晴美、菊地勝幸、菊地淳一、熊田真代、倉田明久、小出節子、河野のり子、越川恵美子、小平彩見、後藤忠昭、虹釜和昭、小柳ひろ子、齊藤安正、佐伯めぐみ、佐伯智子、酒井倫子、相模一男、嵯とも子、佐々木克典、佐々木公子、笹沼啓子、佐治千里、佐藤忠仁、澤良世、澤田淑子、信太明男、下野戸重弓、下村直子、白石浩、白川光雄、神保和子、杉田尚子、鈴木賢二、鈴木美礼、砂田規之、関省吾、園部愉理、征矢野久、高野恵美子、高橋英子、滝澤智樹、田口弘美、竹淵浩子、太刀川久夫、田中正美、田中美恵子、田村裕子、田村博康、辻村益朗、土田忠敬、坪田慶子、中島啓幸、中島和枝、中嶋智枝、中村収、中村由美、成瀬節子、西尾泰広、西尾路子、仁衛琢磨、島山隆司、藤生よし子、古川勤、星野宏子、本多淳子、本間久幸、益川洋子、松浦泰二、松崎千春、松下彰宏、松田和子、松原清、水野茂幸、宮下和也、宮島正義、宮地輝子、宗本哲司、村上耕平、村上妙子、森江さつき、森島仁、山崎均、山本たまき、山元寿美代、山領まり、芳岡伸行、吉岡正俊、和佐美佐子

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団、ちひろ美術館の支援会員として、私たちの活動を支えてくださり、ありがとうございました。

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団は、次のような目的をもって活動しています。

子どものしあわせと平和を願いつづけた絵本画家いわさきちひろの業績を記念し、文化の民主的・多面的発展に寄与する活動をおこなう。
散逸しやすい絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、絵本芸術等に関する資料を収集・保管・展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこない、あわせて、これら資料に関する調査研究をおこなう。

（「公益財団法人いわさきちひろ記念事業団定款」より抜粋）

支援会員の輪を広げてください。

ちひろ美術館の支援会員制度について、ぜひお知り合いにご紹介ください。詳しいご案内やチラシをご希望の方は、希望部数と送付先（お名前、ご住所、お電話番号）をお知らせください。

申し込み先 ちひろ美術館・東京 支援会員制度担当 TEL.03-3995-0612 FAX 03-3995-0680 E-MAIL chihiro@gol.com
〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2

ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2
TEL.03-3995-0612 FAX 03-3995-0680 e-mail chihiro@gol.com

安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原 3358-24
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774 e-mail chihiro@seagreen.ocn.ne.jp

<http://www.chihiro.jp/>

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 支援会員制度

2015 活動報告書



いわさきちひろ 赤い胸あてズボンの少女 1971年

ちひろ美術館・東京

安曇野ちひろ美術館

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 ちひろ美術館（東京・安曇野）
2015年度 活動報告書

2015年度活動報告書のお届けにあたり、支援会員のみなさまの、変わらぬ温かなご理解と支援に、深く感謝申し上げます。2015年は、戦後70年という大きな節目の年でした。「非戦70年」の意義を踏まえ、東京・安曇野の両ちひろ美術館では、いわさきちひろの平和への願いを継承するとともに、日本と世界の今日的な状況のなかで改めてそれを見つめ直し、さらに広めていく活動に取り組みました。ここでは、主だったものを中心にご報告いたします。

2017年には、ちひろ美術館・東京の開館40周年、安曇野ちひろ美術館の開館20周年、2018年にはいわさきちひろの生誕100年を迎えます。ちひろの表現方法の科学的研究や人生の社会的検証を更に深めるとともに、新しい展示、新しい美術館の在り方を探るプロジェクトもスタートしました。今後とも引き続きみなさまのご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

支援会員の状況（2015年4月1日～2016年3月31日）

- 会員数：有効会員数 294人（新規 60名、継続 234名）
- 支援会費：1,727,600円
 <参考データ：2014年度 有効会員数 268人（新規 65名、継続 203名）支援会費 1,478,000円>
- 支援会費の使途：絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、絵本の普及、国内外での絵本文化支援の活動等に充たさせていただきます（詳細はp.2-4をご覧ください）。
- 税制優遇について：当公益財団法人へのご寄附については「税額控除」または「所得控除」のいずれか有利な方法を選択して寄附金控除を受けることができます。控除を受けるためには、確定申告が必要です。詳しくはお住まいの管轄の税務署にお問い合わせください。

1. 美術館の設置・運営

来館者総数

ちひろ美術館・東京	安曇野ちひろ美術館	合計
47,766人（前年度比 101.7%）	133,973人（前年度比 94.5%）	181,739人（前年度比 96.3%）

2. 展覧会・講演会の開催

ちひろ美術館・東京での展覧会



3/1～5/24 絵本になった！『窓ぎわのトットちゃん』展
 〈企画展〉聖コージスキンの誘惑展

5/27～8/2 ちひろの本棚
 〈企画展〉没後10年「長新太の脳内地図」展

8/5～10/25 非戦70年 ちひろ・平和への願い
 〈企画展〉日ブラジル外交関係樹立120周年 旅する芸術家 ホジェル・メロ展

10/28～2016.1/31 まるごとちひろ美術館 世界で最初の絵本美術館
 「いわさきちひろ」「世界の絵本画家」「内藤廣による ちひろ美術館の建築」

安曇野ちひろ美術館での展覧会



3/1～5/12 絵はみなくていい美術館ーまるごとちひろ美術館
 「いわさきちひろ」「世界の絵本画家」「内藤廣による ちひろ美術館の建築」

5/15～7/14 〈戦後70年特別企画展〉
 I ちひろ・非戦の誓い
 II 戦争を描いた日本の絵本展
 III ちひろ美術館コレクション
 世界の絵本画家から未来を生きる子どもたちへ

7/17～9/23 〈企画展〉はじめてみる、ちひろの世界。
 いわさきちひろ x 佐藤卓 = 展
 ちひろ美術館コレクション
 衣装あれこれ!? 世界の絵本展

9/26～11/30 ちひろを語るこの一点「ぶどうを持つ少女」の魅力
 チョウ・ウツヨシ
 〈企画展〉『はしれ、トット!』『ぞんごの絵本づくり展』
 ちひろ美術館コレクション
 10人の絵本画家 10の絵本づくり

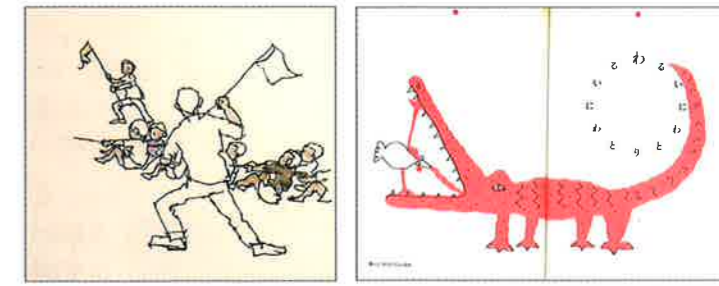
他館と提携する展覧会



8/1～8/30 明石市立文化博物館
 「夏休み特別企画展 ちひろ美術館コレクション ちひろと世界の絵本画家たち」

10/10～11/23 静岡市美術館
 「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」

3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究



いわさきちひろ『ゆびぎり』より1961年 長新太『まさかさかさま動物回文集』より1989年

2015年度、新たに114点を収集
 いわさきちひろ 9,522点
 世界の絵本画家 世界33の国と地域203人の画家 17,353点
 合計 26,875点（2016年3月31日現在）

4. 教育活動

東京館

- 4/19 『子どもにつたえる日本国憲法』関連講座
 「ママさん弁護士が語る 子どもの未来と憲法」(図1)
- 10/2 ドキュメンタリー映画
 「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」上映会(図2)
- 2016.1/28 中国深圳美術学校 水彩ワークショップ(図3)



安曇野館

- 7/11 トットちゃんのリトミック体験他、
 『窓ぎわのトットちゃん』にちなんだイベントを毎月開催(図4)
- 7/29～8/16 中学生ボランティアによる
 ワークショップとガイドツアー(図5)
- 10/16 大町北小学校 美術館探検(図6)



5. 普及活動



毎月第2、4土曜日開催
 えほんのじかん（東京館）

7/30（安曇野館）
 幼稚園児への英語おはなし会

6. 国際交流



10/20～10/21 中国北京における、絵本関係者との交流活動(図7)

11/8～11/10 シンガポールでの AFCC 日本年に向けた交流と提携活動(図8)

12/1～2016.1/15 インド・ニューデリーでの「いわさきちひろと日本の絵本展」(図9)

トピックス



12月15日、いわさきちひろの誕生日に、生誕97年を記念して、Google が一日だけちひろの Doodle をアップロード。公式ホームページやフェイスブックのアクセスが通常の20～40倍に。

「ちひろの生まれた家」記念館がある越前市で、2015年10月より、越前市の市民バス「のろっさ」に新しく「ちひろ号」が登場しました。

2015年刊行の書籍等

- <国内>
 『長新太の脳内地図』（東京美術）
 『DVD いわさきちひろ～27歳の旅立ち～』（ホライズン・フィーチャーズ）
 『ちひろ美術館 世界の絵本原画 コレクション展 絵本をひらくと』（静岡市美術館）
 『こどもの時間』（クルミド出版）
 『伝記を読もう10 いわさきちひろ 子どもの幸せと平和を絵にこめて』（あかね書房）
- <海外>
 単行本『窓ぎわのトットちゃん』（台湾）
 『絵本 窓ぎわのトットちゃん』（台湾）
 『絵本 窓ぎわのトットちゃん』（韓国）
 『にんぎょひめ』（中国）
 『あかいくつ』（中国）